

# 論壇

伊藤 元重

## 専門病院への機能集中

全国各地に行っても地域医療は厳しい状況に追い詰められている。多くの公立病院は赤字垂れ流しの状況であり、自治体の財政を圧迫している。公立病院の閉鎖を決めた前の千葉真銚子市長は、リコールされて辞任した。公立病院の閉鎖について話題にするのは市長にとっては自殺行為に近い、という囁きさえ聞か

かの決定が下るのだという。それぞれの病院にとってスーパーホスピタルに選ばれば予算がさらに増えて機能も強化されるが、選に漏れば専門性を弱めて地域の普通の病院になるということのようだ。

スウェーデンの病院はすべて県が運営して、そこで働く医師や看護師

## 医療再生による地域活性化

てくる。しかし、地域医療をこのまま放置しておくわけにはいかない。公立病院の再編を軸に、地域医療の立て直しを考えなくてはならない。少し前スウェーデンに調査に行くと、現地で興味深い話を聞いた。

もすべて公務員である。病院の再編からリストラまで、すべて県からのトップダウンで決まることになる。医療で専門性が求められている中で、専門病院への機能集中が進められている。

残念ながら、日本ではこうした大胆な医療再編は難しい。銚子の例からも明らかだが、それぞれの市町村が病院に関与すると、自分たちの町の病院が再編の対象となるといつ決断ができないのだ。ちなみに銚子市の場合にも、隣の旭市に全国的にみ

ても大きな規模の病院があり、銚子の病院の機能を縮小してこの旭市の病院に機能を集中させることは好ましいことのようにも見える。それでも、銚子市民はそれを良しとしなかったのだ。

ある会議で、厚生労働省の元次官が興味深い発言をしていた。「地域医療の再生が必要であると言ったが、地域経済が崩壊している中で医療だけ再生するのは難しい」と。地域の医療が困難であることの責任を問

われても、医療行政だけでは限界があるということを言いたかったのだろう。行政のトップにいた人の責任回避の発言のようにも聞こえるが、しかし大切な点を指摘していることは確かだ。地域経済の再生がなければ、地域医療も強化されないのだ。

広域的再編と連携が必要  
私が理事長を務めているNIRA（総合研究開発機構）では、またなか集積医療のプロジェクトを行っている。地域の医療機関の集積を進め

ていくことは、医療の機能強化につながるだけでなく、街の活性化にもつながるといえる考え方である。「地域経済の再生がなければ地域医療の再生も難しい」ではなく、「地域医療を再生することが地域経済を活性化する原動力となる」と考えるのである。高齢社会にとって医療はそれほど重要なものであり、この医療機関の再編を進めていくことにより、地域の人の流れを変え、地域経済の活性化も期待できるはずだ。

街の活性化という点、どうしても商業施設や工場立地を中心に考える傾向が強かった。しかし、医療機関もこれからの地域活性化の鍵となるはずだ。NIRAではいくつかの地域の具体的な事例についても調査を進めているので、ぜひ参考にしてください (http://www.nira.or.jp/omnibus4/index.html)。静岡

岡県にも規模の小さな市町が多くある。それぞれの自前の病院に固執するのではなく、人口30万人から50万人規模の広域で、医療機関の再編と連携を進めていく必要がある。

（総合研究開発機構）  
理事長・東大教授

\*この記事は静岡新聞社編集局調査部の許諾を得て転載しています。